

令和元年

第5回仙北市議会定例会  
教育行政報告

仙北市教育委員会

令和元年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

最初に、7月22日未明、生保内中学校で職員が亡くなったことに関して、その後の対応についてご報告します。

8月23日、「夏休み明けの職員体制等に係る保護者説明会」を開催しました。

説明会では冒頭に、私どもの管理監督が不行き届きであったことを、保護者の皆様にお詫びいたしました。

現在の校長の状況は、体調を崩し8月9日付けで3ヶ月の療養が必要であるとの診断書が提出され、このことを受け、8月9日付けで佐藤教頭が校長職務代理者として職務に当たっていること、教職員及び校務員の体制として、米澤北浦教育文化研究所長が同校の教頭の職務を行うため8月26日より同校に勤務すること、三浦教育次長が随時統括指導を行うこと、9月1日付けで校務員を配属することについて報告しました。

また、8月8日にスクールカウンセラーから本校教職員が、生徒たちの心のケア、今後の対応について指導をいただいたこと、8月26日には、生徒たちの心の健康調査を行い、26日から28日までの3日間、スクールカウンセラーから中学校に来ていただき、相談等の対応をすることも報告しました。

最後に、倉橋副市長から今後の仙北市の対応等について、ご遺族に寄り添った対応をしていくとの説明がありました。

26日の夏休み明け集会、9月2日の新しい校務員の着任時には、私から直接生徒たちに説明をしました。生保内中学校も徐々に平静を取り戻しつつ、落ち着いた学校活動をスタートしています。

故人のご冥福を衷心よりお祈りするとともに、生徒の心のケアにしっかりと当たり、一日も早く以前の生保内中学校に戻るよう、保護者会と連携を取りながら取り組んでいきます。

それでは、諸般の状況を報告します。

### 【教育総務課】

#### ◇仙北市・富士河口湖町子ども交流事業について

クニマスが西湖で発見されたことを契機に、平成24年度から始まった交流事業は、8回目を迎えました。今年は7月30日から8月1日までの3日間、市内各中学校の代表6人が山梨県富士河口湖町を訪問しました。

富士河口湖町役場の表敬訪問、西湖「クニマス展示館」の見学、地元中学生との富士山五合目周辺の散策などの交流活動を通して、クニマスの人工増殖の取り組みや、豊かな自然や環境保全などについて学習しました。

参加した生徒が交流を通して学習したことを自校の生徒に伝えながら、クニマスや環境保全、仙北市の将来等について考えていくよう指導していきます。

#### ◇子どもサミットについて

8月6日、市内12校の児童会・生徒会代表者による第15回子どもサミット～S e m b o k u C i t y ジュニア未来会議～を開催しました。

子どもサミットでは、仙北っ子が大切にしたい心と力を5つにまとめた「仙北っ子の5つの約束」を各校でどのように具現化して取り組んでいるか、活発な意見交換がなされました。また、仙北市の未来について望む姿や、それに向けて今取り組みたいことなどを真剣に話し合いました。

今後も、ふるさと仙北市や自分たちの学校生活をより良いものにしていくために、それぞれの視点からの課題に自主的、主体的に取り組んでいけるよう支援していきます。

#### ◇東北中学校体育大会の結果について

8月8日から10日にかけて、新青森県総合運動公園マエダアリーナ（青森市）で行われた、第49回東北中学校バスケットボール大会において、角館中学校女子が見事に準優勝し、8月22日から和歌山ビッグホエール（和歌山市）を主会場に開催された全国大会に出場しました。

また、8月10日・11日に、青森県武道館（弘前市）で行われた、第42回東北中学校柔道大会男子個人戦55kg級で、角館中学校3年の黒澤要（くろさわ かなめ）さんが第5位に入賞しました。黒澤さんは8月17日から兵庫県立武道館（姫路市）で開催された全国大会にも出場しました。

#### ◇大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会兼田沢湖女子駅伝競走大会の結果について

8月27日、快晴の田沢湖畔で開催された同大会の女子の部で角館中学校Aチームが優勝、男子の部で角館中学校Aチームが第2位に入り、9月21日・22日に県立中央公園スポーツゾーンで開催される全県大会への出場権を得ました。

#### ◇第71回大曲仙北中学校英語暗唱・弁論大会の結果について

8月29日、美郷町公民館を会場に大曲仙北地区の中学生が参加して開催された、英語暗唱・弁論大会の弁論の部で、神代中学校3年の佐藤大空（さとう そら）さんが「Littering is illegal（ポイ捨ては違法だ）」という演題で自分の考えを堂々と発表し、見事に最優秀賞に輝き県大会出場権を獲得しました。

#### ◇公立学校施設冷房設備設置工事について

3月26日から8月30日を工期に進めていました、冷房設備設置工事が全ての学校で完了しました。

現在、検査員による検査期間となっておりますが、各学校においては、天候に依じての試運転という形で利用しています。

今後も、児童生徒のより良い学習環境整備に取り組んでいきます。

## 【生涯学習課】

### ◇子ども演劇体験講座について

演劇体験を通して、子ども達の豊かな表現力を養い、コミュニケーション能力の向上を図るため、8月5日から8日までの4日間「わらび劇場」で子ども演劇体験講座を開催しました。

2年目となる本講座には、市内小中学校から昨年度より4人多い10人が参加し、劇団わらび座の第一線で活躍する3人の俳優陣から発声練習や、立ち稽古など本格的な指導を受けました。

最終日は、保護者や学校関係者、わらび座の俳優やスタッフなど大勢が見守るなか、短期間の練習とは思えない堂々とした演技を披露し、大きな拍手を受けていました。

今後も子ども達の表現力などの様々な能力の向上に努めます。

### ◇仙北市成人式について

8月15日、仙北市民会館を会場に仙北市成人式を行いました。

今年の対象者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた250人で、うち、199人(79.6%)が出席し、会場では、懐かしい友人や恩師との再会に喜び合っていました。

代表3人による「誓いのことば」では、両親や家族、先生方や仲間たち、そして地域の方々に恩返しができるよう精進し、友人を大切に、支え合いながら共に歩んでいきたいという力強い決意が述べられました。

式典後に行われた記念アトラクションでは、各中学校の思い出のスライドショーや、デビュー20周年を迎えた角館在住のシンガーソングライター大木彩乃（おおき あやの）さんのミニコンサートが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

新成人の皆さんが、郷土の良さを再認識する機会として、また、一人でも多く仙北市に定住してくれるよう、今後も積極的な企画、運営に取り組んでいきます。

## 【田沢湖公民館】

### ◇生保内節盆踊り大会について

8月21日、田沢湖庁舎駐車場を会場に、第49回生保内節盆踊り大会が開催されました。

今年は悪天候により一日順延となりましたが、市内外から訪れた約400人余りが民謡「生保内節」に合わせて心ゆくまで盆踊りを楽しみました。

盆踊りの合間には、石神稲穂太鼓保存会、生保内田植え踊り保存会による郷土芸能のほか、生保内小学校児童による民謡、だしのこ園職員によるサンバ生保内節、田沢湖さんさ湖桜会によるさんさ踊りなど多彩なアトラクションが披露され、詰めかけた多くの観衆から盛大な拍手が送られ、会場は大いに盛り上がりました。

この盆踊りは、来年度50回の節目を迎えることとなりますので、地域の郷土芸能関係者を始め、様々な団体から協力をいただきながら準備を進めていきたいと考えています。

## 【学習資料館・イベント交流館】

### ◇塩野米松聞き書き『中国の職人展』について

4月6日から8月25日まで、新潮社記念文学館で開催しました「本」にならなかった本ー塩野米松聞き書き『中国の職人展』は、2,568人のお客様が入館し、好評のうちに終了しました。

この企画展に際しては、塩野米松さんから多大なご協力をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

### ◇巡回展「矢来町のたからもの 佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」展について

9月3日から10月20日まで、新潮社記念文学館で巡回展「矢来町のたからもの 佐藤俊夫新潮社元会長旧蔵資料の輝き」展を開催しています。

佐藤俊夫新潮社元会長の遺品の中から発見された佐藤氏ゆかりの資料が公益財団法人日本近代文学館へ一括寄贈されたのを機に、昨年10月から同館で「受贈記念展」を開催し、本日より仙北市で開催している展示会は、この巡回展となっています。展示資料は、二葉亭四迷・石川啄木・島崎藤村・有島武郎・菊池寛・谷崎潤一郎・佐藤春夫・太宰治他、文学者の名作原稿や書簡などに加えて、株式会社新潮社からのご協力により、夏目漱石関連資料が特別出品されています。

貴重な著名作家の自筆資料の味わいを、是非多くの方々にお楽しみいただきたいと思います。

### 【スポーツ振興課】

#### ◇田沢湖マラソン開催について

9月15日、昨年に引き続き日本女子陸上界のトップ選手として活躍されている、渋井陽子（しぶい ようこ）さんをゲストランナーにお迎えし、第34回田沢湖マラソンが開催されます。フルマラソンの制限時間を1時間延長したことによる効果か、エントリーは昨年を200人ほど上回る、1,400人となっています。全種目の最終申込者数は、5,000人を超える見込みです。

また、今大会ではランナーの救急体制の新たな試みとして、メディカルランナーを募集したところ、医師、看護師、救急救命士等の資格を持つ44人の方々から協力をいただけることとなりました。大会参加中に救護が必要なランナーと遭遇した際には、ボランティアランナーとして初期対応をしていただく予定です。大会中は事故等が無いことを願いながらも、より安全・安心な大会運営につながるものと期待しています。

本年も海外からの参加者向けに、ランネットやJTBスポーツテーションエントリーを引き続き行うことで、これまでの走るだけの参加型から観光を含めた滞在型を積極的に取り込み、国内参加のみならずインバウンド対応として、海外からの受入を積極的に行っています。今大会には、中国、台湾をはじめ海外から約50人の参加申込をいただいています。

台湾高雄国際マラソンとの連携については、今大会へも高雄市の関係者やランナーを招き、市民交流の取り組みを引き続き行う予定となっています。

また、コース周辺の通行規制について仙北警察署と協議を行ってきましたが、当日は通行規制が30分早まることにより相当の混雑が予想されますので、規制区間周辺の市民の皆様にご協力をお願いしながら、各方面への周知を図っていきます。

#### ◇各種スポーツ大会について

9月22日には、第29回100キロチャレンジマラソン大会が開催されます。エントリーの状況は、100キロの部に1,043人、50キロの部に383人となっています。

大会運営や今後の大会継続のあり方等検討の余地はあるものの、引き続き秋田県や北秋田市、関係団体とともにサポートを行っていきます。

10月6日、鹿角市で開催される「秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！」に向けて、7月27日に小学生の選考会を実施し、仙北市選抜チームが結成されました。小学生、中学生、高校生、一般、壮年からなる9区間に、各年代の代表選手総勢18人が参加の予定です。

#### 【平福記念美術館】

#### ◇草薨裕写真展-流転の水系-について

7月2日から8月25日まで、仙北市角館町出身の写真家、草薨裕氏の写真展を開催しました。

会期中の7月27日には、ギャラリートークを開催するなど、多くの方にご来館いただき、1,522人の入館者となりました。

#### ◇「福田豊四郎日本画展」について

9月1日から10月14日まで、「福田豊四郎日本画展」を開催しています。

この度、豊四郎の出身地小坂町にある小坂町立総合博物館並びに秋田県立近代美術館から多大なるご協力を得て、今の季節に合わせて秋をモチーフとした日本画作品の他、スケッチ、資料など約80点を展示しています。

また、豊四郎は角館とも縁があり、八田菓子舗のおぼこ餅のパッケージデザインなども手掛けており、是非この機会に、豊四郎の故郷愛溢れる作品をご鑑賞いただきたいと思います。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。